

——その4 高校生の住居観——

奈良女子大 ○國嶋道子 武庫川女大 貴田康乃
滋賀県短大 榊原典子 大 阪 大 今井京子

目的および方法 その1に同じ

結果 住宅内容および周囲環境に関して、特に重要と考えることは「日当り・採光」「風通し」「静かさ」「台所まわりの便利さ」…であり、特に重要でないと考えることは「外部の収納スペース」「玄関まわりの広さ」「バルコニー・庭などのスペース」…である。「台所まわりの便利さ」については女子に重要とする割合が高い。現在のすまいには「日当り・採光」「風通し」「緑の豊かさ」「静かさ」の点では満足しているが、「間取り」「台所まわりの便利さ」「バルコニー・庭などのスペース」「部屋数」の点では不満としている。さらに、都市部特に旧市街地居住のものは他地域に比べ「日当り・採光」「風通し」「緑の豊かさ」…の点で満足度が低い。これらは地域の性格や歴史性に関連していると思われる。次に、住宅を選ぶ際に重視する事柄を指通させたところ、「住宅の広さ・間取り」「住宅の日照通風など」「緑・静かさなど周囲環境」「通勤・通学の便」の順となっている。

以上のことから、高校生は「住宅の広さ・間取り」…にかかわるすまい内部についてはもちろんのこと、「日照・通風」や「緑・静かさなど周囲環境」にかかわる生活環境・地域環境についても関心があり、このことは、住居の学習指導内容において、これからの住生活に対応することができるようすまい内部のことにとどまらず、すまいと生活環境・地域環境とのかわり、その重要性を理解させるべく検討する必要があるといえよう。